

90. フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病の後方視的検討

熊本医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ先]までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究の概要

フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病(以下、Ph+ALL)の予後はチロシンキナーゼ阻害剤により劇的に改善しましたが、一旦再発すると治療抵抗性となり急激に悪化することが多いのが現状です。本研究では当院で診断および治療を行ったPh+ALL患者様の診断や治療経過を詳細に検討します。

研究の目的と方法

研究の目的は、当院のPh+ALL症例の詳細なデータ解析し再発例の特徴を明らかにすることにより、再発を防ぐための治療手段あるいは再発後の治療方法を検討することによって治療成績の向上に寄与することです。研究の方法は、2009年1月より2019年5月までに当院で診断および治療を行ったPh+ALL症例に関して、カルテを用いて年齢、性別、治療内容、再発の有無、移植情報などのデータ収集を行います。そのデータを用いて再発率、生存率にどのような因子が影響を与えるかについて統計的解析を行います。

本研究の参加について

本研究により患者様に新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がありました際は、下記の[当院の問い合わせ先]までご連絡ください。

調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存のカルテデータ(問診記録、身体所見、検査記録)を用いて実施する研究です。研究対象者(患者様)の個人情報(氏名、住所、電話番号)は記載せず、個人情報は特定されません。

調査期間

研究対象期間：2009年1月～2019年5月

研究期間：当院倫理委員会承認日～2021年3月31日

研究成果の発表

研究成果については、学会、論文などでの発表を予定しています。

当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 血液内科 河北敏郎

問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 血液内科 河北敏郎

TEL: 096-353-6501